

甲斐市 ふる里自然観察路 ガイドブック

Guide Book of Kai City Nature observation route



甲武信
ユネスコエコパーク



日本遺産

JAPAN HERITAGE

甲斐市ふる里自然観察路

緑の木立の中を吹き抜ける
爽やかな風と鳥の声。

わずかな時間で日常とは

別世界が広がります。

こちよい疲れ、爽快感。

甲斐市ふる里自然観察路では

自然を肌で感じることが出来ます。

市内でこんな体験ができるなんて……。

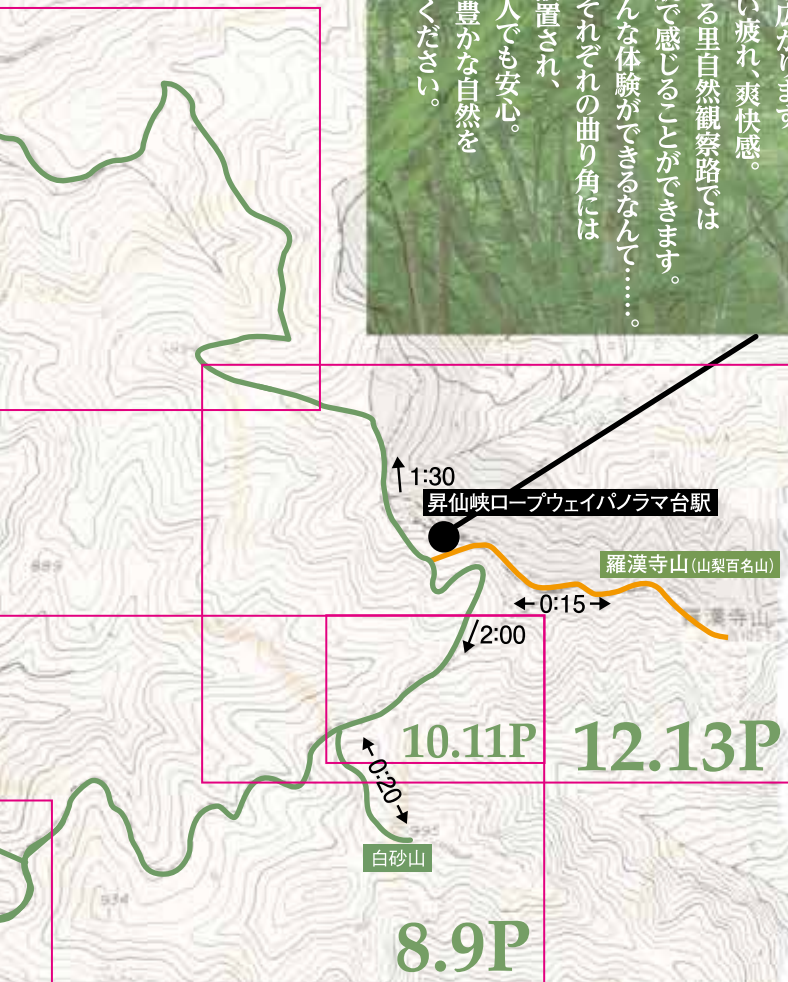
ルートのそれぞれの曲り角には

看板が設置され、

初めての人でも安心。

甲斐市の豊かな自然を

お楽しみください。



ふる里自然観察路は、昇仙峡の西側の山中にあるルートです。
県道101号（敷島竜王線）沿いの獅子平を起点に、昇仙峡パンorama台を
由して、下福沢大川林道、県道敷島竜王線を下り、獅子平のスタート地点ま
でを歩きます。自然観察路という名前のとおり、変化に富んだ自然が観察
でき、盆地の山々の展望も申し分ないコースになっています。

ふる里自然観察路を歩くときの注意

近くだと言っても山です。天候が急変することもあります。また、イノシシなども生息しているエリアです。次のことなどに注意して歩きましょう。

- ◎しっかりした靴で登りましょう（はきなれたものを）。
- ◎雨具・ヘッドランプなどの準備も忘れないようにしましょう。
- ◎鈴など音の出る物を携帯し、鳴らしながら歩きましょう（ハチなどにも注意）。
- ◎水、簡単な食料なども携帯しましょう。アメやチョコレートのように短い休憩時間でも食べられる行動食を用意しましょう。
- ◎落石や滑りやすい場所に注意してください。コースの中には石や岩が多かったり、枯葉で覆われていたりして転びやすいところもあります。特に下りは慎重に歩きましょう。また斜面の道では落石があったり、滑って谷側に落ちる場合も考えられます。十分注意しながら歩いてください。



獅子岩



獅子滝



石造物

獅子滝
獅子岩

石造物

県道101号:敷島竜王線

大川橋

2:00 →

14.15P

所要時間

獅子平橋

2:30 ↓ ↑ 2:00

パノラマ台駅

1:30 ↓ ↑ 2:00

大川橋

白山(白砂利)

獅子平橋

P

2:30 →

4.5P

6.7P

獅子平付近 「スタート地点」



入口の橋(獅子平橋)



県道沿いの駐車場
※道路には停めないでください。

自然観察路の起点。獅子平の県道沿いには、このコース専用の駐車場が設けられています。ここに車を置いて、橋を渡り、獅子平集落の中を通過して、野生動物の防護フェンスを右側の扉から入ります。コンクリートの道をしばらく行くと、いよいよ林の中に入ります。本格的に自然観察路が始まります。



目印の案内看板



①入口となる防護フェンス(右側の小さい門から)



②入口の林



③虫喰い岩と呼ばれる浸食された岩



④木の階段

お守り下さい

※急な斜面や滑りやすい場所もありますので注意してください。また服装や靴はしっかりしたものを着用してください。

※雨具・ヘッドランプ・水等・食料等は必ず持参してください。 ※単独行動は極力ひかえましょう。

太刀の抜き石(岩)、白山(白砂利)付近



②太刀の抜き石

北仙開拓といわれた集落を右下に見て山道を進みます。ちょっと急な斜面を登りきったところに分岐の標識があります。ここを右に行くと旧御岳道の外道ルートで吉沢地区へ抜ける道となります。自然観察路は左方面です。その前にちょっと右に進むと太刀の抜き石へのルートがあります。3分ほどで行けますのでぜひお寄りください。

④展望スポット白山(白砂利)





分岐に戻って、自然観察路を進むと、白山(白砂利)への分岐が現れます。ここも2分ほどで露头へ出ることができます。小さな松がところどころに見える風化した白い花崗岩砂に覆われた斜面からは、北岳をはじめとする白根三山や鳳凰三山や甲斐駒ヶ岳などの南アルプス山脈を一望できます。(風化した表面は滑りやすいので注意してください。)



①分岐の看板



③白山展望台はすぐそこ



白山(白砂利)からの眺望

白砂山



②白砂山には低山とは思えない絶景が広がる



①自然観察路から白砂山への分岐

※急な斜面や滑りやすい場所もありますので注意してください。また服装や靴はしっかりしたものを着用してください。

至パノラマ台駅



至獅子平橋



白砂山から羅漢寺山方面を見る



炭焼き窯跡

観察路を進むと右方向にぬける白砂山への分岐が現れます。白砂山も花崗岩の表面が侵食してきた場所で、自然観察路からちよつと離れるため、羅漢寺山などが別の角度から眺められる場所です。(ここも侵食された表面は滑りやすいため注意が必要です。)

※崖や岩場の先端は危険です。近づかない様にしてください。

羅漢寺への分岐

羅漢寺は、かつては羅漢寺山の山腹にあり、この山の二の岳（弥三郎岳）、二の岳（鷲方峰展望台）、三の岳（金剛方峰／バノラマ台）に小堂を建てそれぞれ阿弥陀、釈迦、薬師をまつり、山全体が修行の場であったといわれています。現在でも山腹には石垣の跡などを見ることができそうです。倒れた萬霊塔が当時の羅漢寺への入口を思わせます。

①倒れた萬霊塔
(旧羅漢寺への入口)



②旧羅漢寺の遺構

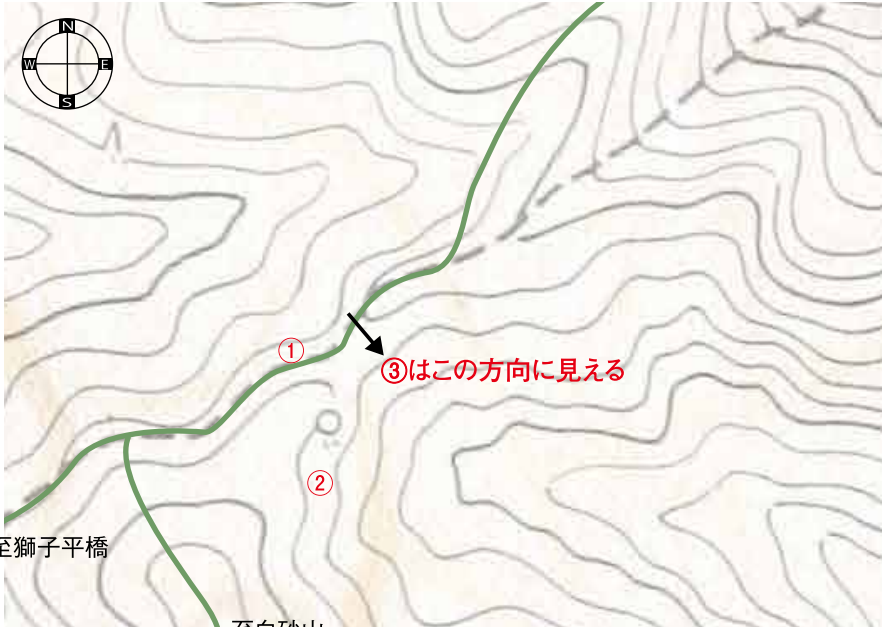


旧羅漢寺の遺構  日本遺産

羅漢寺は大永年間(1521・1527)に創建されたとされ、開山当時は、羅漢寺山の中腹にあったが慶安4年(1651)に火災で消失し、その後、新道開削により木造羅漢像とともに現在の場所に再建されました。

旧羅漢寺跡には、当時の石組みなど、かつての遺構が観られます。

至パノラマ台駅



至獅子平橋

至白砂山

自然観察路は北斜面のルートからこの部分で尾根に出て南側の風景を見ることができます。ここから南に見える白砂山先端の岩が昔から「鞍かけ岩」と言われていたものです。

この風景は、江戸時代の浮世絵師歌川広重などが絵に残しています。

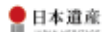


③鞍かけ岩



木造五百羅漢像と

木造阿弥陀如来坐像(羅漢寺)



現在の羅漢寺は、長とろ橋から荒川沿いに昇仙峽を進んだところの右岸、羅漢寺山南東山麓に位置します。

ここにある五百羅漢像は、桧材などを用いた一木造りの立像で、合計154軀が現存しています。数多い羅漢の形態は簡略化されていますが、表情はそれぞれ異なり、当初は美しい彩色がほどこされていました。像底に応永31年(1424)などの墨書があり、年代も明らかで個性豊かな群像です。

パノラマ台からの眺望

御嶽昇仙峡

日本遺産
JAPAN HERITAGE



パノラマ台からの風景(甲府盆地の向こうには富士山が見えます)

自然観察路からちょっと上に出るとパノラマ台となります。ここは昇仙峡ロープウェイの駅があり、多くの観光客が訪れる場所。ここから南に15分ほど進むと羅漢寺山一の岳である弥三郎岳になります。ここからは360度の風景が楽しめます。また、パノラマ台(三の岳)からも富士山や南アルプス、茅ヶ岳などのすばらしい眺望が得られます。

パノラマ台には、羅漢寺山の標柱が設置されており、八王子八雲神社も建立しています。



昇仙峡一帯の山地は、水の塊と信じられていた水晶を産出する水源信仰の地であり、地域を流れる荒川上流を訪ねると、悠久の時をかけた浸食により形成された大小の滝や巨石、奇岩に驚かされます。水が作った芸術品ともいえるこの溪谷美は、江戸時代末期に行われた新道開削により奇跡的に出現したのですが、地域の人々の熱意により日本有数の景勝地として磨きあげられてきました。そして、昇仙峡一帯で産出された豊富な水晶とその加工技術は、匠の技として日本一のジュエリー産業の基盤となり、更には人工水晶製造技術へと繋がってスマートフォンなどの電子機器に使用されるなど、過去から現代に至る私たちの生活を支えているのです。

至大川橋



至獅子平橋



パノラマ台からの紅葉と茅ヶ岳



①大川林道方面のほか、金桜神社へ抜ける



広重が描いた奇岩



弥三郎岳の由来：
昔、甲斐の国、御岳今の昇仙峡にある名利羅漢寺に弥三郎という酒造りの名人が寺男として住んでいました。この弥三郎は武田家の勝ち戦の祝い酒などを造り、大変重宝がられておりましたが大の酒飲みで失敗が多く、その非を住職にいざめられ二斗の酒を最後に禁酒を誓い、その夜この頂上より天狗になって消えてしまつたと伝えられています。いつの頃からか、ここは弥三郎岳と呼ばれ、弥三郎権現として南側絶壁の岩穴に現在も酒の神として本殿が祭られています。（昇仙峡伝説史より）



八王子八雲神社



大川林道付近

パノラマ台から金桜神社に向かう道をしばらく行くと、左上に登っていく標識があります。ここから少し登ると携帯電話中継塔と水道用のタンクが見えてきます。このタンクに貯められた水は、ロープウェイのパノラマ台駅で使用される水で、大川林道沿いにある水源からここまでポンプで引き上げているものです。

ウツギの花

ここからは標識に沿って下っていくルートとなります。場所によっては5月にはウツギの花が、6月頃にはハクウンボクの白い花が咲き、目を楽しませてくれます。

自然観察路

水路



至パノラマ台駅



獅子岩



大川林道県道出入口



亀沢川の流れ

ルートは途中からコンクリート打ちの道路になります。この道は林業用の道路で大川林道といわれています。この林道を下り、防護フェンスを通過すると県道に到着します。

後は県道沿いに獅子平まで戻ります。途中には、おわん淵、獅子滝や獅子岩などさまざまな特徴のある風景を見ることが出来ます。また石造物などもいくつか見られます。これらは車で通り過ぎると気がつかないものばかり。アスファルトの道ですが、これらを眺めながら歩くのもいいでしょう。

(P3に地図)